

就職のためのパソコンマスター

『就パソ - 就職に勝つ パソコン '96』

昨今の厳しい就職戦線を取り切るために、パソコンを使う方法を説く本である。「パソコンができます」という条件が就職に役立つのか、採用する企業や学生、学校を対象に行ったアンケートをもとに現状を把握する。また、「パソコンができます」が就職に役立つと判断した人のために、パソコンを覚えるためのスクールと資格、パソコンやインターネットの基礎を説明している。冒頭

にある企業のWWWページのなかの就職情報などを初めて目にする、「もしかしたら、オレは遅れを取っているかもしれない。ああ、インターネットを始めねば...」と思う人もいるだろう。しかし、企業からの一言メッセージに表れているのは、WWWページを参照できることより、効率よく仕事をするためにパソコンを使うことをいとわない人材を求めているということだ。「驚異の就職率を誇る慶応大学藤沢キャンパス」という記事を見ても、問題は「パ



ソコンが使えるか」という点にはないことがうかがえる。柔軟な適応能力とテクノロジーに振り回されない理性のほうが求められているのかもしれない。といっても、もはや「読み書きパソコン」は社会人のたしなみと思っていようから、ノホホンとしている学生諸君に本書を渡して活を入れてあげよう。



情報を発信する動機

菊地宏明 Hiroaki Kikutchi

TUTAYA創業の背景

『情報楽園会社』

本屋とレンタルビデオ屋が合体し、深夜まで営業している店「TUTAYA(つたや)」には、何かとお世話になることが多い。仕事から、帰宅時間に開いている書店は少なく、本を探していてふとビデオを見たくなったり、CDを聞きたくなったりする要求を満足させてくれる場所といったら、まず全国780店舗もある便利なTUTAYAになる。著者はこの店を企画した人物であ

り、社長だ。TUTAYAを創業し、衛星を使ったデジタルTV放送のディレクTV日本の社長となった注目の起業家が、本書で会社について語っている。しかし、この手の本にありがちなサクセスストーリーふうの内容ではない。勤めていた会社をやめて創業するまでの過程のジレンマや、そのとき考えていたコンセプトを書きつづけている。これから社会に出る人は読んでおくとよい。「ネットワークというのは、すべてがつながっていくということだから、そのしきみを持ってコミットできる人と、限定された個人の情報だけに頼っている人とは、当然のことながら、企画力において決定的な差が生じることにもなる」。これこそ、起業家から見たネットワークを知る人と知らない人の差である。インターネットを使いこなすことの重要性を知って、初めて企業が望む人材となるのだろう。



増田宗昭著
徳間書店発行
243頁
1500円
ISBN : 4-19-860448-7

安田幸弘 & パソコンライフスタイル研究会著
インプレス発行
259頁
2980円
ISBN : 4-8443-4740-3



初めてでもこれならつながる

『Windows95ではじめる優しいインターネット入門』

CD-ROM付きのインターネット入門書。Windows3.1にも対応するインターネット入門書が多いなか、Windows95に限定してあるため読みやすい。構成は、インターネットの概要、導入準備、CD-ROM収録ソフトウェアを使ったインターネット設定、各ソフトウェアを使ったネットワークサービスの説明となっている。まず、付属のCD-ROMには、WWWブラウザ、メールリーダー、FTP、archie、IRC、CU-SeeMe、画像ビューア、動画プレーヤー、データ

HTML記述ツールなどが収録され、それらは専用のインストーラーでまとめてインストールが可能になっている。ソフトを集めただけでなく、専用インストーラーを用意しただけで、ものすごく手間が省ける。全部をインストールしても10分ほどだ。また、Windows95に付いているインターネットセットアップウィザードではわかりにくかったPOPサーバーとSMTPサーバーを別のマシンとして設定する方法なども解説されている。画面図が多く、ステップバイステップで画面と説明が進んでいくので、自分のパソコンのモニターと比べて確認しながら進められる。解説に専門用語を羅列した本よりも断然わかりやすい。

女の子が作るネットカルチャー

Net Travellers'Tribune 著
翔泳社発行
178頁
1200円
ISBN : 4-88135-356-X



『ネットトラヴェラーズ96』

日本初のカルチャー系イエローページ本『ネット・トラヴェラーズ』が帰ってきた。前回の95年版に続いて今回もまた、イッチャってます。『インターネットンデモ活用マニュアル』に圧されてきた95年版を上回るパワーが投入されている。なんていったってサブタイトルが

「grrrrrls need modems!」。女性のネットワーク(というよりgeekgirl!)のページが満載されている。インターネットにはまると、なぜゼリエAでのサッカー実況中継のようにgrrrrrls!とかcooooo!!などとつづりを延ばすのが好きになるのだろうか?という疑問はとりあえず置いておき、急増中の新しい種族の色合いがいたる所に表れていて楽しめる。ファッション、アートの世界からインターネットに乗り込んできた非技術系

ネットワークーたちは、理工系学生のインターネット文化と融合した独特のカルチャーを築きつつある。たとえば、Home pageをどう読むか。たいていがホームページと読むが、彼らはそんな読み方を嫌い、ローマ字読みでホメバゲと読む。もうそろそろトゥナイトあたりで種族名が命名されるだろう。そんな人々も著者に迎え、日本のPOPなインターネットピープルの近況を知るのは手頃な本である。

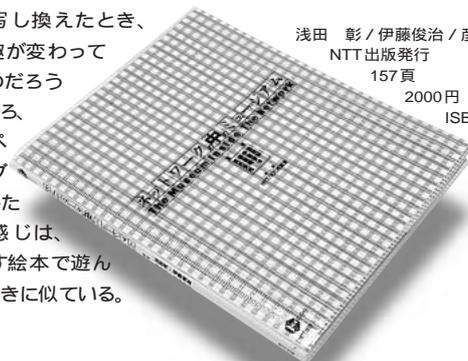
ある美術展の記録

『ネットワークの中のミュージアム』

1995年11月1日から19日まで、NTT/ICCギャラリー、スパイラル、P3 art and environmentとNTTインターネットコミュニケーションセンターのWWWホームページで公開された美術展「NTTインターネットコミュニケーション'95 - ネットワークの中のミュージアム」を記録した本である。作品、コンテンツ、作者のプロフィールやエッセイが収録され、す

べてのページを見て回れなかった人や、会場に出向かなかった人も内容を知ることができる。大きめの判に、写真やコンテンツの画面が散りばめられ、解説も日本語と英語の2か国語で書かれていて、記録としては十分なのだろうが、文字は小さく、写真や画面のほとんどがグレースケールなので、実際のおもしろさが伝わってこない。次第に読み疲れていく。ネットワークのなかに置かれた作品を、パソコンからアクセスし、自分のパソコ

ンの画面に映し出してゆく過程のドキドキワクワクする感覚はここでは得られない。ネットワークで実現したインタラクティブ性は単なる本というメディアに写し換えたとき、こうも趣が変わってしまうのだろうか。むしろ、WWWページをブラウズしたときの感じは、飛び出す絵本で遊んでいるときに似ている。



浅田 彰 / 伊藤俊治 / 彦坂 裕 / 武邑光裕監修
NTT出版発行
157頁
2000円
ISBN : 4-87188-445-7



山根一真編
筑摩書房発行
244頁
1600円
ISBN : 4-480-86301-X

パソコン通信に求めるもの

『ネットワーク共和国宣言』

大手パソコン通信サービスのニフティサーブが会員数100万人突破記念に公募した論文をまとめたものである。ネットトラヴェラーズのPOPなネットワークーに対し、本書はネットワーク市民の書という趣がある。日常からの仕事や情報収集に、また、ハンディキャッパーの重要かつ手軽なコミュニケーション手段として、

生活に根づいているネットワークをパソコン通信ユーザーの視点で捉えた論文集になっている。いままでは、パソコン通信のIDを持ってはいるものの、暗いイメージが先行して近づくににくい感じがしていた。もちろん、フォーラムなどの場で白熱する議論を戦わせていることも、心の悩みの相談の場になっていることもわかってはいたが、過去に体験した事件で感じた誹謗や中傷というネガティブなイメージをぬくいくこ

とはできなかった。本書ではネットワークでこういう社会を実現したい、こんな危惧を抱いているという論文が集まっている。それらはネットワークが郵便や電話のように生活に根ざしていることを感じさせ、ネットワーク共和国の市民が感じるパソコン通信はもっと暖かいものらしい。とりわけ、社会的弱者に追いやられがちなハンディキャッパーにとってのパソコン通信の重要さを改めて思い知らされる本だ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp